

1 【活動の趣旨】

「子どもも大人も共に学び、共に育つ」地域活動を通して、子どもと大人がつながり絆を育むことにより子どもたちの成長を見守る。

2 【特徴的な活動内容】

○バス研修『サンドブラスト体験とマス釣り体験』

【日にち】 7月22日（月）

【場 所】 長浜黒壁スクエア（午前）、醒井養鱒場（午後）

【対 象】 笠縫小学校1年生～6年生

【参加人数】 子ども60人、協力者13人

魚釣りは、初めての子も多かったが、大人にエサの付け方や釣れた時の針の外し方を教わりながら楽しんだ。

サンドブラスト体験のガラスに転写するデザインをカッターで切り取るのが難しいところは、大人に教わったり手伝ったりしてもらいながらそれぞれ個性豊かな自分だけのガラスが創作できた。

○もちつき体験とあそびひろば

【日にち】 12月21日（土）午前

【場 所】 笠縫まちづくりセンター

【対 象】 笠縫こども園園児、笠縫小学校1年生～6年生

【参加人数】 子ども49人、大人6人、協力者34人

地域の大人ともちつきを体験し、もち米が蒸しあがるまでの待ち時間にゲームや工作、ふるさとかるた、福笑いなど、大人と一緒に好きな遊びをした。



【サンドブラスト体験】



【マス釣り体験】



【もちつき体験】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・醒井養鱒場では、釣り・ビデオ学習・塩焼きを食べるの3班に分かれ、時間配分を決め効率よく活動出来るようにした。
- ・もち米が蒸しあがるまでの待ち時間に、異年齢でできる遊びを何種類か準備し、交流できるようにした。

4 【事業の成果】

- ・もちつきを初めて体験する子も多く、日本の伝統文化に触れられる良い機会となった。
- ・あそびひろばでは、普段関わりのない異年齢の子たちが、同じ遊びを通して仲良くなれるきっかけとなった。



【あそびひろば】

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・協力者が固定化してきているので、多くの方に関わってもらえるような工夫をしたい。
- ・日ごろできないような体験を地域の方の協力を得ながら実施していく。また、その体験を通して子どもと地域の大人が交流し、互いに成長できる機会を作る。